

徳島大学附属図書館でのアルバイトの方から

卒業にあたって（謝辞）

徳島大学総合科学部人間社会学科 渡邊優太

私は大学3年から4年まで、徳島大学附属図書館蔵本分館で、アルバイトとして勤務しました。私にとっては初のアルバイトだったために右も左も分からず苦労しました。初めは中々慣れることができずに、色々な方にお世話になったことを覚えています。本当にありがとうございました。また、普段学生の立場からでは分からない図書館を別の立場から覗くことができました。苦労もありましたが、この経験は貴重なものだったと卒業を間近に控えて実感します。

話は変わりますが、私は大学図書館の「ライブラリー・ワークショップ」という活動に参加しています。これは学生が主体となって図書館でイベントを開いたりするものなのですが、困ったことに現状ではメンバーが足りないということになっています。本を愛する人、集団で一つのものを作り上げるのが好きな人などを求めています。もし、興味を持ってくれる方がいれば、図書館へ足を運んで下さい。メンバーが足りません。困っています。助けてください。

それでは改めて図書館関係者様、お世話になりました。卒業後も何らかの形で貴館に関わっていければ幸いです。

[メールマガジン「すだち」第86号本文へ戻る](#)

【す だ ち】徳島大学附属図書館報 第86号

〔発行〕国立大学法人 徳島大学附属図書館

Copyright (C) 国立大学法人 徳島大学附属図書館

本メールマガジンについて、一切の無断転載を禁止します
